

支部の活動報告

小豆支部国語部会

小豆・小豆島中 水本 雅恵

1 研究主題

生きて働く力を育む国語教室

～言葉による見方・考え方を働かせた主体的・対話的な学び～

2 研究活動の概要

(1) 4月17日(水) 土庄中学校

- ① 本年度の役員の選出
- ② 研究主題の設定
- ③ 本年度の活動計画

(2) 6月13日(木) 土庄中学校

- ① 講話「指導と評価の一体化」を踏まえた指導案について
「生徒指導の視点を取り入れた授業づくり」について
講師 一田 幸子 主任指導主事
(県教育センター)

- ② 指導案検討1 各持ち寄りの指導案
- ③ 指導案検討2 「魅力的な提案をしよう」

(3) 9月25日(水) 小豆島中学校

研究授業・授業討議

3 研究内容

(1) 研究討議

- ① 「指導と評価の一体化」を踏まえた指導案について
ア 現状把握→課題→言語活動・手立ての順に考える。
イ 指導事項を確認し、どんな力を身に付けたいのか、目的意識をもたせ言語活動を行う。
ウ 評価の具体を生徒と共有しておく。

ルーブリックの導入検討など。

エ 言語活動を通して、指導事項を育成する。言語活動は生徒にとって考えたくなるような課題を設定する。

② 国語科における「生徒指導の視点を取り入れた授業づくり」のポイント

ア 「共感的な人間関係の育成」…否定ではなく、お互いの考えを認めようとして批評できるような関係性を言語活動を通じて育成する。

イ 「自己決定の場の提供」…課題設定、表現方法の決定等

ウ 「安全・安心な風土の醸成」…「させる」から「支える」へ

(2) 研究授業

授業者 小豆島中 水本 雅恵 教諭

2年 「聞き上手になろう～質問で思いや考えを引き出す～」

① 本時の目標

話の展開に注意して聞き、インタビューで相手の思いや考えを引き出そうとしている。

② 学習指導計画

ア この夏の思い出を短歌にする。

イ インタビューで、短歌に込められた思いを引き出す。(本時)

ウ 類義語・対義語・多義語について学ぶ。

エ 言葉を比べ、もっと「伝わる」表現をめぐらして短歌を推敲する。

③ 本時の学習活動

ア 本時の目標と活動の流れを確かめる。

イ 動画を視聴し、質問のこつを考える。

ウ 役割を確認し、質問を確認する。

エ 班でインタビューを行う。

オ 本時の振り返りをし、次時の学習課題を確認する。

④ 授業討議

ア 授業説明

- 目的意識をもってインタビューを行えるように、「和歌を味わう」「類義語・対義語・多義語」「言葉を比べよう」と合わせて単元構成した。言語活動の目的を「アドバイスをを行うために、短歌に込められた作り手の思いを引き出す」にし、単元のゴールを「言葉にこだわって『この夏の一番の思い出』を短歌で表現する」と設定した。
- タイプ別の質問キーワードカードを班ごとに用意しておいたので自信がなく発言が苦手な生徒も参考にしながらインタビューできていた。
- 日々の授業で言語活動を行う際、サインカードを用意し、自己存在感を得られるようにしている。
- 質問に意識がいき、導入で確認した「聞く態度」で大事な「うなずき」「相づち」ができていない生徒が多く見られた。

イ 授業討議

- ローテーション時の生徒のつぶやき（インタビューが聞いてほしかったことなど）を拾い、アドバイスの時間が確保できればよかった。
- 今後もその場で臨機応変に答える練習を積むことが必要である。
- 評価の基準を明確にして生徒と共有できていたのがよかった。
- 言葉にこだわったやり取りができていた班があった。

ウ 指導・助言 竹田 昌弘校長

常に思考するような授業の流れで、言葉にこだわって吟味するというねらいにより4つの教材がうまく関連付けられた単元構成になっていた。「聞く力」には様々なあるが、聞き逃さないように聞く力が必要である。聞きたいことを絞り込み、優先順位を考えてインタビューの質を高

キーワードカード

具体化 を促す

～ということですが、
・**具体的に**教えてください
・もう少し詳しくいうと？
・**例え**はどんなとき、場所、場面(に)で？そう思ったのですか？

思い換え/補足 を促す

～ということですが、
・それは**どういうこと**ですか？
・～**機会**はどうですか？
・他に**どんなこと**がありますか？

記録係

～ということですが、
・そのとき、**どう思いましたか？**
私は～**感じた(思った・考えた)**のですが、
・〇〇さんは、**どのように感じ(思っ)ましたか？**

インタビュー後、班で吟味し推敲した短歌 ⇒

ロイノートで提出した短歌シート

そよそよ 夏の風吹く 暗い夜
みんなの笑顔で 輝いている

そよそよ 夏の風吹く 暗い夜
みんなの笑顔が 満月みたい

対比

「輝いている」↓「満月みたい」という
比喩に変えることで、直接的な表現を避
けた。「暗い夜」に対し「満月」という
明るいもので対比するようにした
触覚と視覚を取り入れたのが好評だった
ので「そよそよ」はそのままにした

めるには、しっかりとイメージをふくらませ、質問を考える時間を十分確保できるとよい。また、コミュニケーション力は生活経験に大きく影響されるので、ホットシーティングなどを取り入れながら、読みを深める授業を積み重ねてほしい。

4 成果と課題

今年度は、日々疑問を感じていた指導案、授業づくりについて研修できた。指導していただいたポイントを踏まえ、さらに対話力を高めていけるような授業研究を進めていく。